

夢への希求 人としての豊かさ 企業としての明日！



宮本工業株式会社

MIYAMOTO INDUSTRY CO., LTD.



【会社概要】

- 1) 設 立 昭和 60 年 12 月 12 日
創 業 昭和 61 年 2 月 1 日
- 2) 本 社 宇部市大字船木 14-8
- 3) 従業員数 27 人（うち女性 4 人）
- 4) 業 種 鉄筋工業

宮本工業株式会社は、建設業の中の鉄筋工事業を担っています。

大型物件と言われる、学校、病院、マンションといった建物の骨組みを作る専門工事業者です。

「鉄筋工」を知ってもらう ～説明会や工場見学を通して～



代表取締役会長 宮本ゆり子 氏
(2025 年 2 月 25 日 取材訪問)

鉄筋工事業について、どういう仕事をするのかイメージが思い浮かばないですね。高校での説明会では、「力仕事をするんでしょう？」と聞かれることがあります。

そこで、3 kg や 5 kg のお米は持てるかと問えば、持てると回答が返ってきます。それ以上の重さの物って基本的には持たないんですね。

もしも、持つのであれば、みんなで協力してひとつの物を持ちます。建設業界は、チームで建てるものなので。道具も発達してきて、鉄筋を結束するための、使いやすい機械もあります。

鉄筋は組み上がったら、コンクリートの中に埋められて、完成後は見ることはできませんが、組み上がった鉄筋は、機能性のある芸術作品ですね。

高校での出前授業のときなどは、鉄筋の階段を 3、4 段組んで、その階段に乗って強度をみてもらったりします。コンクリートの中に入る前の現場のイメージを、形で示してこれだけの強度があるのだと知ってもらいたい。

宮本工業で活躍する女性社員のつながり

女性が働くということに対して、女性も男性もなく同じ賃金という思いが先代にはありました。今までに工場や現場であったり、トラックの運転手さんもありました。

そして、娘が会社に入りましたときには、現場を知らないといけないということで、現場に行ってもらったんですね。鉄筋工事というのは、現場で最初に入り込むのですが、その頃の現場にはトイレがなかったりして大変でした。雨が降り出したりした時には、気になって着替えを持っていったりということは、随分ありました。

令和2年に入社して、技能者として働く女性が現場に行く際は、娘が率先して現場に出向いてトイレや女性の更衣室が充実してるんだろうかと、先に見て確認してから行かせていました。

この3月からまた、女性が入社してくるんですけど、今度は先輩として、彼女がどのようにサポートしてあげてくれるのかな。これからが楽しみだなと思っています。



全国の女性技能士とのつながり

全国鉄筋工事業協会の女性活躍推進ワーキンググループの活動として、年に1回、鉄筋工事業に携わる女性が集まるんですね。今回も、この2月に福岡を会場として全国から集まります。年々、参加する人数が増えてきています。

参加されると、こんなにたくさん、鉄筋工事業で働く女性が全国にいたんだと励みになったんじゃないかと思いますね。働き始めたばかりの1年目と10年目、10年を超えて1級技能士の資格を持ってるような先輩たちと、どうやって自分たち女性ならではのライフステージをクリアしていったのかって聞いたりする場ですね。

例えば、子供を望んだときに、どのように会社と話をするのかなど。やはり、女性はそのが一番、言い出しにくいけれど、一番大事なことですよね。

ここでつながりの出来た人たちの夢は、自分たち女性だけで一つの現場を組み上げること。希望であり目標ですが、鉄筋工事業のイメージが変わるかもしれません。

これからの宮本工業 ～未来につながる、ものづくり～

先代である主人が、縁がありまして家族と一緒に初めて山口県にたどり着いた日、虹がかかっていたんです。それが、まるでたくさんの虹をくぐってくるような感じで。

その後、昭和61年に創業し、紆余曲折ありましたが、40周年を迎えることができました。企業は、人として豊かさを求めると、企業として成り立っていくと思うんです。やっぱり、社員ひとりひとりが幸せにならないと、企業も生き残っていかないということですよね。

宮本工業の仕事は、地図に載り、誇らしく、やり甲斐を感じられる「未来につながる、ものづくり」の仕事です。

宮本工業で働くことで、大きな夢をもって、それを叶えて。また、それが次のステップになってというふうに、夢を求めて叶えていくことを、ここだったら出来るよってみんなが思ってくれることが、次の目標かもしれないですね。



いつも言っておりますのが、「働きやすい環境」は男性でも女性でも性別に関係ないのだと。女性が働きやすい環境というのは、男性でも働きやすい環境なんだと思っております。

お互いを尊重しあって、助けあって、誰もが働きやすい環境づくりを進めていき、現場にチャレンジする女性には、会社としてその社員のライフステージを考えたり、せっかく入ってきてもらった人材なので、長く勤めていただきたいと思います。

